

## ✧ 海外ニュース ✧

スペイン 2017年3月29日 abertis

### ■ アベルティス、フランスの系列会社（HIT-Sanef）の持ち分を90%近くに

Abertis alcanzará una participación cercana al 90% en su filial en Francia (HIT-Sanef)

Sanef社を100%管理するHITを通して、アベルティスは2006年にフランスに進出した。フランス北西部、ノルマンディー地方、アキテーヌ地方の有料自動車道路1,760 kmを直接運営している。これは同国の有料自動車道路全体の22%に当たる数字だ。

スペイン 2017年3月29日 Cinco Días オンライン版

### ■ フェロビアルが米国最大の環状道路工事に参入

Ferrovial entra en la obra de la mayor circunvalación de EE UU

フェロビアルはテキサス州（米国）の新規大規模プロジェクトに参加、ヒューストン環状道路の85 km区間を建設する。落札金額は7億9,000万ユーロ。ひとつの都市を囲む有料自動車道路としては同国で最大となる道路の一部である。

ドイツ 2017年3月30日 Zeit オンライン版

### ■ 自律走行：コンピューターが運転を担うのはどの場面か

Autonomes Fahren: Wann darf der Computer ans Steuer?

連邦議会は本日新たな法案を可決し、現行の交通法の変更が決まった。今後は、公道を走る市販車にも、一時的に自律走行システムを搭載できるようになる。

アメリカ 2017年4月1日 cleveland.com

### ■ オハイオ州のターンパイクで今年中に公道での半自律制御トラック走行を実施

Turnpike travelers will see semi-autonomous trucks on the road this year

カリフォルニア州に本社を置くPeloton Technology社が、オハイオ州のターンパイクで、「プラトーニング（隊列走行）」と呼ばれる、現在進歩しつつある車両走行技術を本格展開する。プラトーニングでは、半自律走行の商用トラック2台を一組とする。車車間通信によってトラック同士は短い車間距離を保つが、これによって燃料消費を抑え、風の抵抗を低減することができる。

ドイツ 2017年4月4日 Verkehrs Rundschau オンライン版

### ■ 4カ国の交通相が乗用車課金制への対抗措置で同意

Verkehrsminister aus vier Ländern stimmen Vorgehen gegen Pkw-Maut ab

ドイツ近隣の4カ国が、論争の的となっているドイツの乗用車課金制に対して訴訟を起こすことを検討している。ルクセンブルク、オランダ、オーストリア、ベルギーの交通相の会談が行われる予定。

スペイン 2017年4月6日 abertis

### ■ アウトピスタス社、初の開閉バーなし料金所をAP-7に開設

Autopistas abre el primer peaje de España sin barreras en la AP-7

アベルティスのグループ企業アウトピスタスは、AP-7号線に開閉バーなしの料金所システム「フリーフロー」を導入するプロジェクトの最終段階を終えた。同システムは青信号やバーが開くのを待つ必要なく、時速60 kmで料金所を通過できるというものである。

スペイン 2017年4月11日 Ferrovial

### ■ タイヤ粉使用のアスファルト混合物は道路のための持続可能なソリューションのひとつ

Mezclas asfálticas con polvo de neumático una solución sostenible para las vías

フェロビアル系列のディテクペサ社は、自社の貯蔵ターミナルで事前にエラストマーを使用して加工した瀝青に現場でタイヤ粉を加える混合瀝青などの応用製品を開発しており、生産、工事实施、残留物評価において非常に満足すべき結果を得ていると開発主任のホセ・ミゲル・マルティネス・マセド氏は語った。

フランス 2017年4月13日 Le Figaro

### ■ ヴァンシ、スロバキアで高速道路建設プロジェクトを受注

Vinci va construire une autoroute en Slovaquie

総合建設グループ、ヴァンシの子会社、ユーロヴィア社は木曜日、最終的にオーストリアとウクライナを結ぶことになるスロバキア国内の高速道路の1区間を建設する3億5,600万ユーロの契約をコンソーシアム方式で受注したことを発表した。プレスリリースによると、ユーロヴィア社は建設会社 Dopravný ústav 社および Metrostav Slovakia 社とともに、完成後スロバキアを東西に横断することになる高速 D 1 号線の 8 km 区間を建設する工事を請け負う。

ベトナム 2017年4月15日 Viet Nam News

### ■ ホーチミン市が渋滞緩和のために自動車からの通行料徴収を検討

City mulls car tolls to ease traffic

ホーチミン市人民委員会は、交通渋滞緩和を目指し、同市の商業地区に入る自動車から通行料を徴収する計画を承認した。このプロジェクトは官民連携 (PPP) によって施行される予定だ。通行料金はすべての地域ではなく、交通渋滞が発生している道路でのみ徴収する。「大半の住民の主な移動手段はオートバイですから、道路通行料金を徴収してオートバイの利用を減らす試みに関しては実行可能とは思えません」と、プロジェクトを請け負う ITD のクワン CEO は語る。

フィリピン 2017年4月17日 Manila Standard

### ■ 有料道路運営会社の合併契約に合意

Toll road operators OK merger agreement

NLEx Corp. と トールウェイズ・マネジメント (TMC) は、4月17日に合併計画に署名した。合併は2017年の第3四半期に完了する見込み。存続会社となる NLEx は、北ルソン高速道路、スービック・クラーク・ターラック高速道路のコンセッショナーであり、北ルソン高速道路と南ルソン高速道路を接続するコネクター・ロード・プロジェクトの主唱者である。TMC は有料道路とそれに付随する施設、インターチェンジ、その他関連物件の運営・保全に従事している。

アメリカ 2017年4月17日 Los Angeles magazine

### ■ カリフォルニアの死ぬほど退屈な渋滞を再生可能エネルギーに変換できるか？

Can California Turn Its Soul-Crushing Traffic Into Renewable Energy?

カリフォルニア州エネルギー諮問委員会は、州内の混雑するフリーウェイを再生可能エネルギー源に変えるという2件のプロジェクトへの出資を承認した。両プロジェクトとも、ある物質に圧力が加わると電気が発生するという圧電気現象を用いたものである。小さい圧電性の水晶を道路の表面に埋め込み、そこで捉えられたエネルギーは近くにある蓄電池に貯蔵される。

アメリカ（イタリア、スペイン） 2017年4月18日 Reuters

■ **伊アトランティア、西アベルティスの獲得を検討中か**

Italy' s Atlantia mulling takeover of Spain' s Abertis-source

4月18日に内部事情に詳しい人物が語ったところによると、イタリアの有料道路運営会社アトランティアが、スペインの競合会社アベルティスの買収の可能性を検討しており、この取引が成功した場合、市場価格350億ユーロ（370億米ドル）を超える業界最大手企業が誕生するという。その人物の話では、買収は友好的に行われ、おそらく現金と株式を組み合わせた形での申し入れが含まれるとのことである。アトランティアは昨年、海外事業の中核利益の割合を、当時の25%から2020年までに50%に引き上げるという目標を発表していた。この戦略の一環として、アトランティアは同社のイタリア国内の道路部門ASPI（アウトストラデー・ペル・リターリア）の株式の約15%を売却する検討をしている。複数のアナリストの見積もりによると、現時点ではASPIを単独で支配しているアトランティアが、この売却によって獲得する額は約25億ユーロに上るとのこと。

ドイツ 2017年4月22日 Frankfurter Allgemeine Zeitung

■ **連邦会計検査院：アウトバーン民営化に抜け道はない**

Bundesrechnungshof : Keine Autobahn-Privatisierung durch die Hintertür

連邦会計検査院の声明では、官民協働によるアウトバーンの管理運営はごく例外的な場合しか許されず、100km未満の短い区間に限られるという。会計検査院は以前から官民協働プロジェクトを非効率的で、納税者にとってコストが高いと批判していた。複数のサブネットワークをまとめて「機能上、民営化」することは、「基本法に反して不可能」とであると述べている。